

②-01

気管支鏡専門医更新申請書類

今年度気管支鏡指導医同時申請の有無

(下記のいずれかに必ずレ印をおつけ下さい。)

有 (☐新 規 ・ ☐更 新) ・ ☐無

ふりがな

氏 名

日本呼吸器内視鏡学会会員番号

申請期間 7月1日～7月31日 (必着)

2-02

日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医申請書

1. 氏 名	ふりがな 〒 —		生年月日（西暦） 年 月 日	
2. 住 所	ふりがな 〒 —		TEL — —	
3. 所 属 設	名 称	ふりがな 施設名		
		ふりがな 科名		
	住 所	ふりがな 〒 —	TEL — — FAX — —	
4. 専 門 分 野 (該当にレ印)	☐ 01内科・ ☐ 02外科・ ☐ 03放射線科・ ☐ 04呼吸器科・ ☐ 05呼吸器外科・ ☐ 06小児科・ ☐ 07麻酔科・ ☐ 08耳鼻咽喉科・ ☐ 09気管食道科・ ☐ その他			
5. 診 療 研 究 地 域 (該当にレ印)	☐ 01北海道・ ☐ 02東北・ ☐ 03関東・ ☐ 04中部・ ☐ 05北陸・ ☐ 06近畿・ ☐ 07中国, 四国・ ☐ 08九州・ ☐ 09外国在住			
6. 研 究 歴 職 業 歴	年 月 () 大学医学部卒業 年 月 医師免許証取得 医籍・第 () 号 年 月 年 月 年 月 年 月			
7. 気管支鏡診療歴 (該当にレ印)	施設名 (☐ 認定施設・ ☐ 関連認定施設・ ☐ 資格なし) 年 月 日～ 年 月 日 施設名 (☐ 認定施設・ ☐ 関連認定施設・ ☐ 資格なし) 年 月 日～ 年 月 日 施設名 (☐ 認定施設・ ☐ 関連認定施設・ ☐ 資格なし) 年 月 日～ 年 月 日 施設名 (☐ 認定施設・ ☐ 関連認定施設・ ☐ 資格なし) 年 月 日～ 年 月 日 施設名 (☐ 認定施設・ ☐ 関連認定施設・ ☐ 資格なし) 年 月 日～ 年 月 日 施設名 (☐ 認定施設・ ☐ 関連認定施設・ ☐ 資格なし) 年 月 日～ 年 月 日 施設名 (☐ 認定施設・ ☐ 関連認定施設・ ☐ 資格なし) 年 月 日～ 年 月 日			
	気管支鏡診療歴 計 年 (5年以上)			
8. 呼吸器内視鏡学会	会 員 歴	() 年		
9. 備 考 (申請者自由記入)	(例) ○○病院にて1983.4～86.5まで週1回2～3例の気管支鏡検査を見学。			
10. 気管支鏡指導医 同時申請 (該当にレ印)	☐ 有 (☐ 新規・ ☐ 更新) ・ ☐ 無			

受付日	整理No.
-----	-------

上記の通り申請いたします。

年 月 日

氏 名

印

本法人在籍（計5年以上）証明証（本法人事務局発行）

貼付不用

事務局にて申請書類受領後に貼付致します。

業 績 表
 ① (出席用)

氏 名

出席（過去 5 年以内の主なものを記入）

参加証（写し）は次ページに記入順に貼付。
 それぞれに業績表①と同一の番号を記入すること。

①	会 名	開催年月日	単位数
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

合 計

 点

注意：8項目以上に亘る場合は、本用紙をコピーの上ご使用下さい。
 ※最終頁に業績表等を掲載してあります。

学術集会等への出席を証する参加証（写し）

貼付欄

参加証（写し）には前ページの業績表①と同一の番号を記入し、
番号順に貼付のこと。

*必要に応じ本用紙をコピーの上ご使用下さい。

業 績 表 ②（論文・著書用）
「気管支鏡に関連を有するもの」に限る。

氏 名 _____

論文・著書（過去5年以内の主なものを記入）

論文の場合は別冊又はコピーを、編著書の場合は表紙・目次・執筆箇所のコピーを付ける。
それぞれに業績表②と同一の番号を記入し、「気管支鏡に関連を有する」部分及び氏名に赤線を引くこと。

②	論 文・書 名	雑誌及び発行所名	巻 号	発行年月	（該当に） レ 印	単位数
1			巻 号		☐ 筆 頭 ☐ 共著者	
2			巻 号		☐ 筆 頭 ☐ 共著者	
3			巻 号		☐ 筆 頭 ☐ 共著者	
4			巻 号		☐ 筆 頭 ☐ 共著者	
5			巻 号		☐ 筆 頭 ☐ 共著者	
6			巻 号		☐ 筆 頭 ☐ 共著者	
7			巻 号		☐ 筆 頭 ☐ 共著者	
8			巻 号		☐ 筆 頭 ☐ 共著者	
9			巻 号		☐ 筆 頭 ☐ 共著者	
10			巻 号		☐ 筆 頭 ☐ 共著者	

注意：10項目以上に亘る場合は、本用紙をコピーの上ご使用下さい。
※最終頁に業績表等を掲載してあります。

業 績 表 ③（発表用）
「気管支鏡に関連を有するもの」に限る。

氏 名 _____

発表（過去 5 年以内の主なものを記入）

抄録のコピーを付ける。
それぞれに業績表③と同一の番号を記入し、「気管支鏡に関連を有する」部分及び氏名に赤線を引くこと。

③	演 題 名	会 名	発表年月	単位数
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

注意：10項目以上に亘る場合は、本用紙をコピーの上ご使用下さい。
※最終頁に業績表等を掲載してあります。

気管支鏡専門医申請条件一覧表

	新 規	更 新
業 績	必要単位50単位	
	研究業績*10単位以上 但し、本法人年次学術集会での 筆頭演者として発表、 あるいは「気管支学」又は “Respiratory Endoscopy” への 筆頭著者としての論文掲載の いずれか1つ以上を含む	本法人年次学術集会 または本法人専門医大会 3回以上/5年間を含む
	本法人年次学術集会 2回以上/5年間 及び本法人年次学術集会時 気管支鏡セミナー** 1回以上/5年間を含む	
診 療 実 績	100例以上 術者20例以上、及び、認定施設 (関連認定施設)での20例以上を含む	—
気管支鏡診療歴	5年以上	
会 員 歴	5年以上	
試 験	気管支鏡専門医試験	—

*研究業績とは該当する学術集会での発表（共同演者も可）と論文著書とする。尚、業績は「気管支鏡に関連を有するもの」に限る。

**年次学術集会時気管支鏡セミナーは、事前に承認を受けた支部会主催の講習会への出席（10単位以上）をもってこれに代えることができる。

〔業績の分類及び基本単位〕

	出席	筆頭 演者	共同 演者
本法人年次学術集会	10	5	3
本法人年次学術集会時 気管支鏡セミナー	10	5	2
本法人年次学術集会時 ハンズオンセミナー	5	3	2
本法人専門医大会	10	5	2
本法人支部会	5	3	1
本法人支部会主催講習会* (ハンズオンセミナー含む)	5	3	2
WCBIP	10	5	3
関連学会総会**	5	3	1

表にない項目は、参加証に専門医制度における業績単位数が
明記されているものに限り、その単位数を認める。

	筆頭著者	共著者
著書***、気管支学、 Respiratory Endoscopy、 JOBIP	10	5
他の雑誌****	5	3

* 事前に承認を受けた講習会に限る。

** 日本医学会、日本外科学会、日本内科学会、日本
呼吸器学会、日本医学放射線学会、日本気管食道
科学会、日本肺癌学会、日本結核・非結核性抗酸
菌症学会、日本小児科学会、日本胸部外科学会、
日本レーザー医学会、日本臨床細胞学会、日本臨
床検査医学会、日本アレルギー学会、日本移植学
会、日本呼吸器外科学会、世界肺癌学会、日本癌
学会、日本癌治療学会、APCB等。WCBIP、
APCB以外の世界規模の学術集会は申請時に専門
医制度委員会が判断する。

*** 分担執筆でも著者であれば筆頭著者になる。但し、
10人以上の分担執筆では雑誌の扱いになることも
ある。(専門医制度委員会が判断)

**** 医学中央雑誌に登録されている雑誌、あるいは英文
の医学雑誌。